

# 健康・省エネ住宅を推進する先導プロジェクト

(補助事業名) 国土交通省 サステナブル建築物等先導事業(省CO2先導型)

石川県で唯一  
選ばれました!

# 耐震等級3で命も資産も守る。



通常よりも多くバランスよく配置されたヒノキ無垢材の柱。合板や集成材を一切使わずに耐震等級3を実現している。耐震等級3水準の構造なら、地震で大きく揺れても安心感が違う。

昨年発生した熊本地震から1年が経ちました。今までは大きな地震が発生して木造の建物が倒壊しても、「古い木造住宅は地震に弱い」といった報道が多かったのですが、熊本地震では現在使われている2000年基準(耐震等級1)の建物、**築年数でいえば、10年前後の家がいくつも倒壊しました。**

耐震等級1とは、震度7程度の大地震に対して(一度なら)倒壊しない程度の耐震性能です。それによってお施主様の命は守れるかもしれませんが、地震によって大きく傾いた家はもはや住むことはできず途方に暮れてしまうかもしれません。

## 命も財産も守り、住み続けられる家

私たちは、**天然木**でお客様の**日常的な健康**を追求しながら、「**長く資産価値を保ち続ける家**」を理念として家づくりをしています。今回の見学会は、国土交通省の先導事業で選ばれた先進的な高断熱住宅であり、**合板も集成材も一切使わずに耐震等級3**と同水準の構造躯体を実現しました。

熊本地震のような**震度7強の地震**に備えながら、**健康な暮らし**を実現したいなら、**耐震的**にどのように施工されているのかぜひとも確認しておきたいですね。

耐震と健康に関心の高い方のご来場をお待ちしております。

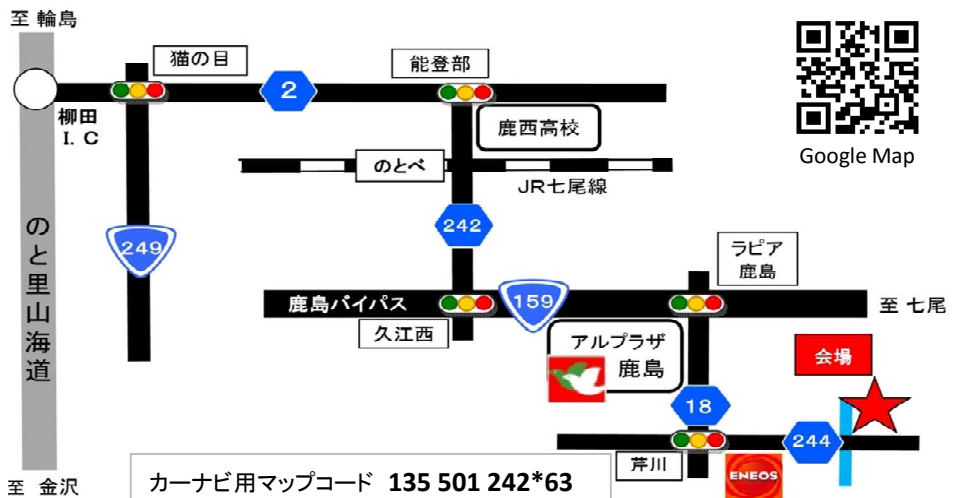
沢野建設工房

## 構造見学会

5/13(土)・14(日)

午前10時～午後5時

中能登町 徳前



カーナビ用マップコード 135 501 242\*63

## 【熊本地震での耐震基準別被害状況】

■熊本地震における木造住宅の建築時期別の被害比率(建築学会によって実施された益城町中心部における悉皆調査より)

損傷ランク	V(破壊) 倒壊	IV(大破) 全壊	III(中破) 大規模半壊	II(小破) 半壊	I(軽微) 一部損壊	無被害
旧耐震基準 ~1981年6月	214棟 (28.2%)	133棟 (17.5%)	373棟 (49.1%)	39棟 (5.1%)	39棟 (5.1%)	39棟 (5.1%)
1981年4月 2000年5月	76棟 (8.7%)	85棟 (9.7%)	537棟 (61.2%)	179棟 (20.4%)	179棟 (20.4%)	179棟 (20.4%)
2000年 6月	7棟 (2.2%)	12棟 (3.8%)	104棟 (32.6%)	196棟 (61.4%)	196棟 (61.4%)	196棟 (61.4%)
新耐震基準 2000年 6月 耐震 等級3	0棟 (0%)	0棟 (0%)	0棟 (0%)	2棟 (12.5%)	14棟 (87.5%)	14棟 (87.5%)

耐震等級3の  
家なら、  
また住める!



熊本県益城町に建つ耐震等級3の家。その近隣には倒壊した家も多い。

無被害の割合を見ると、築年数が新しいだけでは安心できないことがわかります。

つ木幸  
くでせ  
る。は、



株式会社 沢野建設工房

〒929-1122 石川県かほく市七窪ホ5-1  
TEL 076-283-3360 FAX 076-283-8266

沢野 検索

倒壊した住宅(建築基準法レベル)



1階部分が完全につぶれている状況

全壊した住宅(建築基準法レベル・耐震等級1)



1,2階の柱変形があるが、倒壊していない建物

沢野建設工房では、長期優良住宅とZEH(ゼロエネルギー住宅)を推進しています。

ゼロエネルギーで、  
暮らそう。

